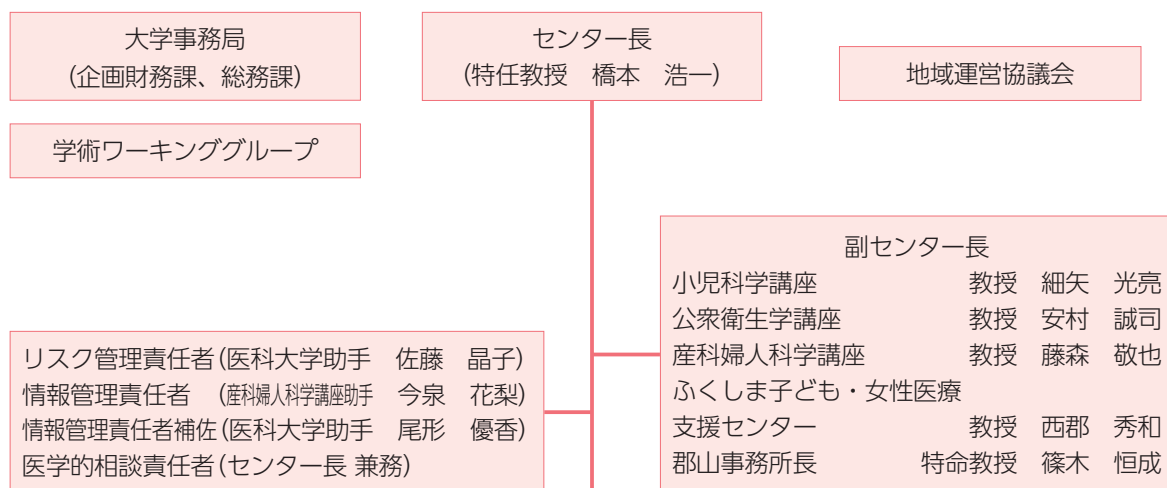


5 資料編

令和3年度福島ユニットセンター組織図

(令和4年3月31日現在)

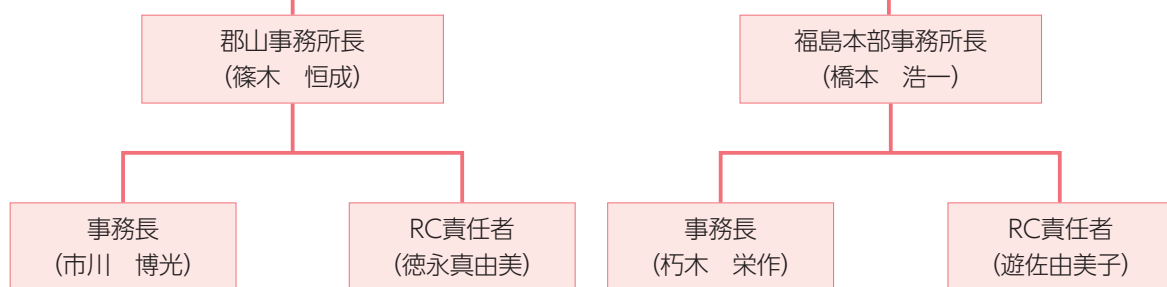
福島県立医科大学



事務局長 朽木 栄作 (兼福島本部事務所事務長)
事務局次長 今泉 繁 (兼会計責任者)
事務局次長 市川 博光 (兼郡山事務所事務長)
RC統括責任者 遊佐由美子 (兼福島本部事務所RC責任者)

郡山事務所

福島本部事務所



【担当地域】

県中地域、県南地域
いわき地域、会津地域

【担当地域】

県北地域、相双地域

※事務局職員数 44名 (事務20名 RC24名)

・福島本部事務所 21名 (事務10名 RC11名)
・郡山事務所 23名 (事務10名 RC13名)

エコチル調査福島ユニットセンターの沿革

平成22.1.12～15	環境省、ユニットセンターを全国に公募
平成22.3	環境省、「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)基本計画」を公表 コアセンター(独立行政法人国立環境研究所)、エコチル調査を開始
平成22.4.12	環境省、本県を含む全国15ユニットを選定
平成22.11	福島県立医科大学において福島ユニットセンターが本格稼働 (センター長：安村誠司、執務室：公衆衛生学講座研究室)
平成23.1	RC職員を配置、エコチル調査の参加者登録(リクルート)開始 調査対象地区は、福島市、南相馬市、双葉郡の計10市町村
平成23.3.11～	東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所事故の発生
平成23.4.19	調査地区拡大(伊達市、伊達郡3町)に関するコアセンターヒアリング
平成23.5.9	コアセンター運営委員会、調査地区拡大について承認
平成23.5	福島本部事務所を10号館5階(旧カルテ庫)に整備
平成23.6.7	伊達市及び伊達郡3町(桑折町、国見町、川俣町)のリクルート開始
平成24.4	調査対象地域拡大等のため職員を増員(事務8名、RC6名)
平成24.5.1	福島市内に新町オフィスを開設
平成24.6	本県の調査対象地域を県内全域に拡大することを決定 (環境省の予算的、人的サポートのほか国の主体的活動、各種支援業務の実施が前提)
平成24.7	橋本浩一センター長の体制に移行
平成24.8	副センター長兼郡山事務所長(環境省より出向)、次長兼郡山事務所事務長(郡山市OB)を配置
平成24.9	郡山事務所を開所し、その支所を白河市、会津若松市、いわき市に設置
平成24.9.4	10月からのエコチル調査全県化について記者発表
平成24.10	調査対象地域を県内全59市町村に拡大、リクルート開始 職員を増員(平成25年度の人員体制：職員約60名、派遣職員約10名)
平成25.6	事務局長兼福島本部事務所事務長(福島県OB)を配置
平成25.10	次長兼会計責任者(福島市OB)、郡山事務所RC責任者を配置
平成26.3	参加者登録(リクルート)の終了
平成26.10	詳細調査のリクルート開始
平成26.11	詳細調査のうち訪問調査(生活環境調査)を開始
平成26.12	11月末で郡山事務所の3支所を廃止、協力医療機関における常駐業務も終了 これに伴い郡山事務所の職員数を縮減(平成26年度末は本部事務所と合せ職員39名)
平成27.4	詳細調査のうち医学的検査・精神神経発達検査を開始 大学事務局(企画財務課)から職員を配置
平成27.10	プロジェクト教員を配置
平成29.1.30	1月29日で新町オフィスを閉鎖し、現在の場所に業務を集約
平成31.4	全体調査のうち学童期検査(小学校2年生対象)を開始
令和2.2	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面調査を中止 (再開：学童期検査8月、詳細調査9月、その後も感染状況を踏まえ弾力的に対応)
令和3.6	令和3年福島県沖地震で被災した郡山事務所を移転

エコチル調査協力医療機関・施設一覧

令和4年3月31日現在

1) 産科協力機関(リクルート・妊娠・出産・出産後1か月調査)

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当	
1	県北	日本赤十字社 福島赤十字病院	福島市	福島本部 事務所	
2		医療法人 明治病院	福島市		
3		医療法人 いちかわクリニック	福島市		
4		医療法人 ささや産婦人科	福島市		
5		(医)ABCクリニック 新妻産婦人科	福島市		
6		本田クリニック産科婦人科	福島市		
7		済生会福島総合病院	福島市		
8		一般財団法人大原記念財団 大原総合病院	福島市		
9		公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	福島市		
10		大川レディースクリニック	福島市		
11		菅野産婦人科医院	福島市		
12		セイントクリニック	伊達市		閉院
13		二本松ウイメンズクリニック	二本松市		
14		社会保険福島 二本松病院(現：JCHO二本松病院)	二本松市		平成25年3月31日終了
15		渡辺医院	二本松市		
16		医療法人 慈久会 谷病院	本宮市		
17	県中	たなかレディースクリニック	郡山市	郡山 事務所	
18		医療法人 岡崎産婦人科	郡山市		
19		公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	郡山市		
20		塚原産婦人科内科外科医院	郡山市		
21		トータルヘルスクリニック	郡山市		
22		一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院	郡山市		
23		公益財団法人 星総合病院	郡山市		
24		一般財団法人脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院	郡山市		
25		古川産婦人科医院	郡山市		
26		独立行政法人国立病院機構 福島病院	須賀川市		
27	県南	小森山産婦人科医院	須賀川市		閉院
28		片倉医院産科婦人科	白河市	福島県民のみリクルート	
29		福島厚生連 白河厚生総合病院	白河市		
30		福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院	東白川郡		
31		岩佐医院	茨城県久慈郡		
32	会津	舟田クリニック産科婦人科	会津若松市	福島本部 事務所	
33		一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	会津若松市		
34		一般財団法人温知会 会津中央病院	会津若松市		
35		JA福島厚生連 坂下厚生病院	河沼郡		
36	相双	医療法人 あらき産婦人科クリニック	相馬市	福島本部 事務所	
37		南相馬市立総合病院	南相馬市		
38		レディースクリニックはらまち	南相馬市		
39		西潤マタニティクリニック	南相馬市		
40		原町中央産婦人科(現：南相馬中央医院)	南相馬市		
41		医療法人社団青空会 大町病院	南相馬市		
42		双葉厚生病院	福島市飯坂		
43		今村クリニック	双葉郡浪江町		
44	いわき	公立相馬総合病院	相馬市	郡山 事務所	
45		医療法人栄真会 村岡産婦人科医院	いわき市		
46		渡辺産科婦人科	いわき市		
47		かたよせクリニック産科・婦人科 (現：医療法人 かたよせウイメンズクリニック)	いわき市		
48		NOBUマタニティクリニック	いわき市		
49		いわき市立総合磐城共立病院(現：いわき市医療センター)	いわき市		
50		森田泌尿器科産婦人科医院(現：森田泌尿器科医院)	いわき市		
51		つくだ町産婦人科医院	いわき市		
52		月川レディースクリニック	いわき市		
53		佐藤マタニティ・クリニック	いわき市		

2) 詳細調査協力医療機関及び協力施設 ■は令和3年度協力医療機関

	エリア	協力医療機関・協力施設名	所在地	担当
1	県北	公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	福島市	福島本部事務所
2		一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院	福島市	
3		公立藤田総合病院	国見町	
4		医療法人 いそめこどもクリニック	福島市	
5		医療法人 いちかわクリニック	福島市	
6		医療法人 おひさま子供クリニック	福島市	
7		医療法人 竹内こどもクリニック	福島市	
8		医療法人 武田小児科	伊達市	
9		土川内科小児科	二本松市	
10	相双	公立相馬総合病院	相馬市	
11		医療法人 彗星会 菜のはなこどもクリニック	相馬市	
12	県中	一般財団法人 太田総合病院附属 太田西ノ内病院	郡山市	郡山事務所
13		公益財団法人 星総合病院	郡山市	
14		独立行政法人 国立病院機構 福島病院	須賀川市	
15		医療法人はぐくみ いいもり子ども医院	郡山市	
16		医療法人 健生会 おおがクリニック	郡山市	
17		医療法人 おおのこどもクリニック	郡山市	
18		医療法人 かわなこどもクリニック	郡山市	
19		医療法人 仁寿会 菊池医院	郡山市	
20		医療法人 久米こどもクリニック	郡山市	
21		医療法人 永徳会 さかい小児科クリニック	郡山市	
22		医療法人 喜信会 じんキッズクリニック	郡山市	
23		医療法人 宣誠会 すみこしこどもクリニック	郡山市	
24	県南	福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院	白河市	
25		医療法人 健恵会 ねもとキッズクリニック	白河市	
26		医療法人 わたなべ子どもクリニック	白河市	
27	会津	一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院	会津若松市	
28		福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院	河沼郡	
29		医療法人 いとう子どもクリニック	会津若松市	
30		医療法人 清信会 やまみこどもクリニック	会津若松市	
31	南会津	福島県立南会津病院	南会津郡	
32	いわき	いわき市医療センター	いわき市	
33		子どもの家	いわき市	
34		第二子どもの家M・A・Y	いわき市	
35		あおぞらキッズクリニック	いわき市	
36		医療法人 森のこどもクリニック	いわき市	

3) 令和3年度 疾患情報登録協力医療機関 ■は令和3年度協力医療機関

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当
1	県北	一般財団法人 大原記念財団 大原総合病院	福島市	福島本部事務所
2		公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	福島市	
3		福島医療生活協同組合 医療生協わたり病院	福島市	
4		日本赤十字社 福島赤十字病院	福島市	
5		医療法人 湖山荘 あずま通りクリニック	福島市	
6		医療法人 慶愛会 文化通りやぎうちクリニック	福島市	
7		福島県中央児童相談所	福島市	
8		医療法人 いそめこどもクリニック	福島市	
9		いがらしキッズクリニック	福島市	
10		ほりこし心身クリニック	福島市	
11		すえなが内科小児科医院	福島市	
12		公立藤田総合病院	国見町	
13		こばやし子ども・内科クリニック	伊達市	
14		医療法人 湖山荘 福島松ヶ丘病院	伊達市	
15		医療法人 クラプトン 佐久間内科小児科医院	二本松市	
16		森小児科医院	二本松市	
17		医療法人 落合会 東北病院	本宮市	
18	相双	すぎやまこどもクリニック	相馬市	郡山事務所
19		公立相馬総合病院	相馬市	
20		公益財団法人 金森和心会 雲雀ヶ丘病院	南相馬市	
21		ほりメンタルクリニック	南相馬市	
22	県中	公益財団法人 星総合病院	郡山市	
23		公益財団法人 星総合病院 星ヶ丘病院	郡山市	
24		福島県総合療育センター	郡山市	
25		公益財団法人 金森和心会 針生ヶ丘病院	郡山市	
26		一般財団法人 太田総合病院附属 太田西ノ内病院	郡山市	
27		医療法人 稔聖会 こおりやまほっとクリニック	郡山市	
28		医療法人 慈圭会 すがのクリニック	郡山市	
29		社会医療法人 あさかホスピタル	郡山市	
30		公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	郡山市	
31		一般財団法人 太田総合病院附属 太田熱海病院	郡山市	
32		一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院	郡山市	
33		南東北医療クリニック	郡山市	
34		わんぱくさいとうこども医院	郡山市	
35		医療法人 明信会 今泉西病院	郡山市	
36		公立岩瀬病院	須賀川市	
37		独立行政法人 国立病院機構 福島病院	須賀川市	
38	県南	福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院	白河市	会津
39		県立矢吹病院	矢吹町	
40	会津	公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター	会津若松市	
41		一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院	会津若松市	
42	会津	医療法人 明精会 会津西病院	会津若松市	
43		一般財団法人 温知会 会津西中央病院	会津若松市	
44	いわき	医療法人 昨雲会 飯塚病院	喜多方市	
45		公益財団法人 磐城済世会 舞子浜病院	いわき市	
46	いわき	いわき市医療センター	いわき市	
47		おおはらこどもクリニック	いわき市	
48	県外	公立昭和病院	東京都	福島本部事務所
49		生育医療研究センター	東京都	
50		順天堂大学医学部附属 練馬病院	東京都	
51		東京北医療センター	東京都	
52		山形大学医学部附属病院	山形県	
53		茨城県立こども病院	茨城県	
54		自治医科大学附属病院	栃木県	
55		新潟県立中央病院	新潟市	
56		仙台医療センター	宮城県	
57		仙台赤十字病院	宮城県	
58		東北大学病院	宮城県	
59		宮城県立こども病院	宮城県	

エコチル調査に係る業務全般に関するPDCAサイクルにおける取組状況 (令和3年4月～令和3年9月末時点)

調査実施機関名：福島ユニットセンター

(P)計画	福島ユニットセンター指標：「参加者とのコミュニケーションに、より積極的に取組、現参加者の減少率を年1%以内にとどめる」 指標達成のため、コロナ禍において実施可能な次の項目に取り組む。 1 参加者等へのモチベーションの維持及びコミュニケーション活動に対する取組 (1)エコチル★ふくしま動画の配信 ●エコチル調査10周年の感謝とコロナ禍でも親子で<u>おうち時間を楽しんでもらえるよう動画を作成し、参加者へ配信する。</u> (2)エコチル調査でわかった成果の発信 ●エコチル調査でわかった<u>成果をまとめた資料を作成し、参加者へ発送する。</u> (3)環境セミナーの開催 ●<u>環境問題を親子で一緒に学び合う機会</u>として、セミナーをオンライン開催する。 (4)ふれあい会のオンライン開催 ●<u>ダンス動画配信やオンラインでのミニはにわ作りイベントを開催する。</u> 2 質問票回収率を維持・向上させるための取組 福島ユニットセンターの令和2年度までの質問票回収率は82.2%。年度単位では近年は75%前後で推移している。回収率維持向上のために今年度は以下の4項目に取り組む。 (1)10歳子どもアンケートのいじめや虐待や自殺が示唆された場合の体制整備 ●コアセンター作成の対応ガイドラインに沿って、福島ユニットセンターの対応フロー及び手順を整備する。 (2)質問票の開封率の向上 ●質問票お届けの案内及び発送用封筒や同封物の工夫により質問票の開封を促す。 (3)質問票の回収率の向上 ●小学1年と8歳質問票の<u>2冊提出したらプレゼントを送る案内</u>を行い、回収率向上につなげる。 ●<u>3回目の返戻依頼は質問票を送付し、親子で簡単に作れる工作の紹介を同封する。</u> ●10年間継続の感謝として<u>10歳のお祝いにオリジナルグッズを作成し、成長を共に祝い、質問票に答えようという意識を高める。</u> (4)参加者の利便性の向上 ●参加者が質問票に回答しやすいように、記入上の疑問が解消できる工夫をする。 3 その他(感染症対策、災害対応) (1)コロナ禍における対面調査実施 ●コロナ禍において、新型コロナウイルス感染症クラスターを発生させず調査業務、特に対面調査を実施し、出来る限り実施件数を多くすることを目指す。
-------	--

	●学童期検査は、実施率50%、詳細調査は実施率100%で計画を設定の上、感染症の状況を見て対応する。 (2)悪天候・災害発生時危機管理、リスク管理対応 ●<u>令和3年2月13日発生の福島県沖地震により、郡山事務所が入居しているテナントビルに大きな被害が生じたため、耐震、セキュリティ上の危険性を踏まえ、事務所の移転先を早急に確保し、安全、かつ、業務に支障なく移転を完了する。</u> ●福島、宮城県沖で震度5以上の地震が数回発生、全国的に豪雨災害が報告された。ユニットセンターでの悪天候時・災害発生時の対応の再確認を計画する。
(D)実施	1 参加者等へのモチベーションの維持及びコミュニケーション活動に対する取組 (1)エコチル★ふくしま動画の配信 ●タレントなすびさんによる「なすびのなぞなぞクイズに挑戦!」、似顔絵タレント桜小路富士丸さんによる「似顔絵を描いてみよう!」、スーパースポーツゼビオインストラクターによる「エコチル運動に挑戦!」の<u>3つの動画を作成し、配信した。</u>テレビ番組での広報も行い、広く閲覧いただけるよう取り組んだ。<u>クイズの解答フォームや似顔絵の投稿フォームを作成し、双方向のやりとりも意識した。</u> (2)エコチル調査でわかった成果の発信 ●「<u>エコチル調査でわかったこと(仮題)</u>」の資料作成に向け取り組んでいる。ニューズレター(秋号:11月発送)へ同封し参加者宅へ発送する予定である。 (3)環境セミナーの開催 ●環境セミナーテーマ:「家族で考えよう!SDGs達成と脱炭素社会づくり」 (令和4年2月13日開催予定) ⇒オンライン開催とし、<u>参加者との双方向性を意識した内容に向けて検討している。</u>昨年度は、「<u>そうだったのか!地球温暖化のほんとうのこと?</u>」というテーマでオンライン開催にて行った。<u>ブレイクアウトルームを使用し、グループワークで意見を出し合う取組も行った。</u>オンライン開催により、<u>県外参加者の参加が増加した。</u>講演は100%が「<u>よかった</u>」または「<u>まあまあよかった</u>」と回答し、<u>グループワークは86%が「よかった」または「まあまあよかった」と回答した。</u>グループワークは、意見を発言することや他者の意見を聞くことができたことへの評価が得られた一方で、低年齢児の参加や発言の難しさに関する課題も見つかった。 (4)ふれあい会のオンライン開催 ●「<u>おうちでDANCE☆DANCEレッスン☆</u>」では、<u>6パターンのダンス動画を作成し、令和3年7月10日～8月9日まで1か月間公開した。</u>今後、令和4年3月に<u>オンラインでのミニはにわ作りイベントを開催する。</u> 2 質問票回収率を維持・向上させるための取組 (1)10歳子どもアンケートのいじめや虐待や自殺が示唆された場合の体制整備 ●福島ユニットセンターのフローチャート(事例発生からコアセンター報告まで)を作成し、運用を開始した。また、<u>福島県児童相談所、福島地方法務局人権擁護課を訪問、福島県庁義務教育課に連絡を取るなど対応機関担当者と情報共有及び事例発生時の可能な対応についてご意見をいただいた。</u>関係者からは管轄省庁間での連携や事例共有方法などの意見があり、ユニットセンターのみで対応が難しい事項であったため、コアセンターに報告、ご検討いただくよう依頼した。

(2) 質問票の開封率の向上

- 年齢及び学年の「質問票お届けのご案内」をリニューアルし、参加者に関心を持っていたくよう取り組んだ。また、今年は特に学年ごと質問票に歯ブラシを封入し、発送用封筒に「プレゼントが入っています」というメッセージを印刷し開封を促した(図1)。

(3) 質問票の回収率の向上

- 「小学1年と8歳質問票の2冊送ってもらっちゃおうキャンペーン」を実施した。2冊提出したらプレゼントを送る案内を行い、ホームページでもプレゼントの紹介をした。質問票提出時に、知育グッズかファンシー文具のどちらを希望するかを聞いて贈呈した。
- 1回目、2回目は、ショートメールで返戻依頼をし、3回目には質問票の再送付を継続した。3回目返送依頼時には「簡単に作れる工作の紹介」を同封した。封筒へその旨のラベルを貼付した。
- ハーフ成人式を記念してクリアフォトフォルダーを作成し、成長を共に祝うプレゼントとした。

(4) 参加者の利便性の向上

- ホームページがリニューアルされたことにより「よくある質問例」Q&Aを作成し参加者が質問票記載上での疑問が速やかに解消できるようにした。また、学年質問票の案内文には「質問票調査に関するQ&A」としてホームページにジャンプできるQRコードを付け、参加者が容易に検索できるよう工夫した。

3 その他(感染症対策、災害対応)

(1) コロナ禍における対面調査実施

- 策定した新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに従い、対面調査を実施した。また、学童期検査においては、参加者向け資料を機械による発送資料封緘作業取扱業者へ外部委託を行った。
- 地域の状況、感染症対策に応じて、適宜対面調査を中止した(5月約2週間、8月から9月にかけて約2か月間中止)。特に、多く予約をいただいていた夏休み期間に予定の検査が実施できなかった(WISC-IV研修協力者含む)。福島県感染症対策レベルが引き下げられた10月1日より調査を再開した。
- 検査中止にともない、既に予約をした参加者への対応として、再予約の調整や、下半期の検査日を追加して学童期検査予約枠の一部を詳細調査精神神経発達検査枠に変更して実施する等の対応を検討した。
- 令和3年度対象者上半期検査実施状況：実施率は、学童期検査22.2%、詳細調査(医学)27.2%、(発達)24.9%であった。期間内に関係者、参加者が陽性者、濃厚接触者となる事例は発生しなかった。なお、新型コロナウイルスワクチンについては、希望者すべての職員が、9月末時点で2回目接種を完了した。

(2) 悪天候・災害発生時危機管理、リスク管理対応

- 令和3年6月、郡山事務所を移転した。移転に伴うトラブル等はなかった。
- 令和3年5月1日、学童期検査実施中に宮城沖を震源とする地震が発生し、検査会場地域で震度4の揺れがあった。発生時、検査を中断して安全確認後、再開できた。ユニットセンター責任者間での連絡や情報収集は、メールにて実施した。後日、課題(役割分担、情報収集、判断時間)の振り返りを行った。
- 情報収集、判断までの時間短縮のため、緊急事態発生時連絡ツールをビジネスチャットアプリに変更した。

	●令和3年7月27日、台風8号の接近予報のため、前日に予定の対面調査中止を決定した。また、避難所となった会場で予定していた7月28日分学童期検査を中止した。参加者に中止の連絡の際には、できる限り予約の振替に努めた。
(C) 評価	令和3年9月末時点の子ども現参加率(転出入調整)は、前年度より0.5%減で、<u>福島ユニットセンター指標である現参加者の減少率を年1%以内にとどめることができた</u>(表1)。 1 参加者等へのモチベーションの維持及びコミュニケーション活動に対する取組 (1) エコチル★ふくしま動画の配信 ●アクセス解析により、<u>動画視聴回数は8,000回以上</u>で、多くの方に興味を持ち、視聴いただけた。<u>アクセスした年齢も幅広く、エコチル調査の広報の一環となり得たこと</u>もうかがえた。 (2) エコチル調査でわかった成果の発信 ●成果をまとめた資料は令和4年11月に発送予定である。発送後、Webアンケートを行い、取組を評価する予定である。 (3) 環境セミナーの開催 ●環境セミナーは令和4年2月に開催予定である。実施後、アンケートを行い、取組を評価する予定である。 (4) ふれあい会のオンライン開催 ●ダンス動画は、アクセス解析により、<u>1,000回以上のアクセス数</u>があり、<u>平均滞在時間が3分30秒と長く、動画を最後まで視聴し、ダンスに取り組めたこと</u>がうかがえた。アンケートより、今まで参加できなかった遠方の方の参加が得られた点が評価できた。また令和4年3月に開催予定のミニはにわ作りイベントについても、実施後にアンケートを行い評価する予定である。 2 質問票回収率を維持・向上させるための取組 (1) 10歳子どもアンケートのいじめや虐待や自殺が示唆された場合の体制整備 ●いじめ事例発生からコアセンター報告まで及び虐待に関する対応についてはフローチャートで整理でき、<u>ユニットセンター内で周知</u>できた。また、<u>県内関係者とも本件に係る情報と課題を共有</u>できた。 (2) 質問票の開封率の向上 ●学年質問票には昨年度は文房具、今年度は歯ブラシを同封している。<u>小学1年の回収率がR2は76.6%→R3は77.8%と向上していることから効果が期待できる</u>。平成25年生まれの回収率が低い傾向から今年度の8歳と小学2年の回収率の経過を見て評価していく。質問票お届けの案内をリニューアルしたことにより、<u>身長や体重などの記載漏れが減少</u>していることから取組の評価ができる。 (3) 質問票の回収率の向上 ●小学1年の回収率が向上していること、また、参加者から質問票返送と共に「<u>歯ブラシありがとう</u>」のメッセージ、「<u>四葉のクローバー</u>」、「<u>こぼちる折り紙</u>」を送っていただくなど、<u>参加者からのフィードバック</u>も得ている。 ●R2年8月データに比べR3年8月の回収率は<u>6歳73.7%→74.9%、7歳74.6%→76.0%と向上している</u>。回収率の悪い平成25年生まれの<u>8歳は75.5%→75.4%</u>であるが、<u>継</u>

	続して<u>返戻依頼をしていくこと</u>による一定の効果が確認された。小学2年の76.6%→74.8%の低下に関しても8歳と同様に経過を見ていく。返戻依頼時の工夫についても継続していく(図2)。 ●10歳質問票は、子どもアンケートも含まれるため返戻が遅れることが予想されたが、10歳質問票の開始後の回収数が、9歳時の回収数と同傾向であることから、比較的順調に進んでいると考えられる。フォトホルダーに関する参加者からのフィードバックは今のところないが、開封に繋がっていると期待される(図3)。 (4)参加者の利便性の向上 ●ホームページの「よくある質問例」Q&Aのアクセス数は、4月から9月まで、延べ150件あった。また、質問票お届けの案内文に付けた「質問票調査に関するQ&A」のQRコードからホームページへのジャンプ数は、延べ57件あり、参加者の利用が徐々に進んできている。また、4月から9月までのホームページへの問い合わせ件数は、前年度同期間に対し増加している一方、質問票回答方法に関するものはなかったことから、Q&A作成と案内文へのQRコード添付の効果があったことが推測される(図4)。 3 その他(感染症対策、災害対応) (1)コロナ禍における対面調査実施 ●夏季休暇期間の検査を中止としたため、<u>上半期実施率は予測を大幅に下回った</u>。下半期対面調査日程を増やしできる限り対応する。詳細調査は、医学的検査実施協力医療機関におけるコロナウイルスワクチン接種業務に加え、下半期はインフルエンザワクチン接種時期となるため日程の確保・調整が難しい状況である。引き続き、基本的対策を継続し対面調査を慎重に実施する。 (2)悪天候・災害発生時危機管理、リスク管理対応 ●悪天候・災害発生時対応を予め定めた手順により、<u>参加者の安全は守られている</u>。 ●振り返りにより、有事の具体的役割設定に取り組むことができています。 ●緊急事態発生時連絡ツール動作テストでは、<u>関係者間での情報収集が容易になったこと</u>が確認された。
(A)改善	1 参加者等へのモチベーションの維持及びコミュニケーション活動に対する取組 ●今後実施予定の取組も含めて評価し、参加者ニーズと合致するイベントを開催し、多種多様な情報発信やコミュニケーションのあり方を探っていく。 2 質問票回収率を維持・向上させるための取組 ●10歳子どもアンケート対応は、事例発生時にコアセンターで想定される具体的対応指示(案)や対応に係る課題等については、コアセンターに問い合わせを行いながら進めている。今後、事例発生時には、コアセンターの指示を得て、地域協力機関と共同して丁寧な対応を行っていく。 ●質問票回収率の維持・向上の取組については、今後も定期的に評価し、<u>PDCAによる取組</u>を継続する。 3 その他(感染症対策、災害対応) ●対面調査は、できる限り多くの希望者にご協力いただけるよう、下半期検査予定を修正する。しかし、特に詳細調査医学的検査の予約振替が困難な状況である。 ●災害発生時の担当者の具体的役割を周知し、より万全な体制を目指す。

図1 質問票お届けのご案内

令和2年度

公立大学法人福島県立医科大学
エコチル調査福島ユニットセンター

小学3年 質問票お届けのご案内

日頃よりエコチル調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今回は、『小学3年質問票』をお届けいたします。

エコチル調査では、多くの方（目標10万人）から情報をいただくことによって、はじめて子どもの成長と環境化学物質などとの関係を明らかにすることができます。

一人一人の参加者の皆さまの協力がとても大切です。毎日お忙しいことと存じますが、質問票へのご回答をよろしくお願いいたします。

- 届いてから2週間を目安にご回答いただき、同封の返信用封筒にてご返送ください。
*返送の確率がとれない場合は質問票がお手元に届いているか、確認のご連絡をしております。
- ご返送いただいた皆さまには「エコチルさくらんぼ nanaco カード」に1,000円分のポイントを還元いたします。
*カードのご使用方法等が分からない場合は、お気軽に下記問い合わせ先までご連絡ください。
- ご登録されている内容が変更になりましたら、ご連絡ください。
*ご住所、お名前、電話番号などに変更がございましたら、同封の「登録内容変更票」にご記入のうえ、質問票と一緒にご返送ください。

年号・西暦 早見表

年号	西暦
平成23年	2011年
平成24年	2012年
平成25年	2013年
平成26年	2014年
平成27年	2015年
平成28年	2016年
平成29年	2017年
平成30年	2018年
平成31年・令和元年	2019年
令和2年	2020年
令和3年	2021年

いつもご協力ありがとうございます。
ご返送お待ちしております。

【問い合わせ先】
〒960-1295 福島市光が丘1
福島県立医科大学 エコチル調査
福島ユニットセンター 福島本部事務局
電話：024-547-1449
平日（土日祝日を除く）9:00～17:00
（QRコードを読み込みむとメールアドレスがわかります）

真もご覧ください

令和3年度

公立大学法人福島県立医科大学
エコチル調査福島ユニットセンター

小学3年 質問票お届けのご案内

日頃よりエコチル調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今回は『小学3年質問票』をお届けいたします。

エコチル調査は、お子さまの未来へつながる大切な調査です。参加者皆様のご協力が必要です。日々お忙しいことと存じますが、質問票へのご回答・ご返送を宜しくお願いいたします。

- 届いてから2週間を目安にご回答いただき、同封の返信用封筒にてご返送ください。
*返送の確率がとれない場合は質問票がお手元に届いているか、確認のご連絡をしております。
- ご返送いただいた皆さまには「エコチルさくらんぼ nanaco カード」に1,000円分のポイントを還元いたします。
*カードのご使用方法、カードの紛失・盗難の際は、お気軽にお問い合わせ先までご連絡ください。
エコチル調査専用 nanaco カード
- ご登録されている内容が変更になりましたら、ご連絡ください。
*ご住所、お名前、電話番号などに変更がございましたら、同封の「登録内容変更票」にご記入のうえ、質問票と一緒にご返送ください。

質問票は、当院学生課にお返しください。
お待ちしております！

住所不明となり連絡が取れなくなる参加者さんの増えてきています。環境調査では、正確な調査結果を得ることが調査結果に重要です。
郵送の際はご住所をお間違いいたします。

年号・西暦 早見表

年号	西暦	早見表	
平成23年	2011年	令和2年	2020年
平成24年	2012年	令和3年	2021年
平成25年	2013年	令和4年	2022年
平成26年	2014年	令和5年	2023年

質問票調査に関するQ&A
はこちら

真もご覧ください

図2 実施中の種類ごと質問票回収率(送付後6か月以上)

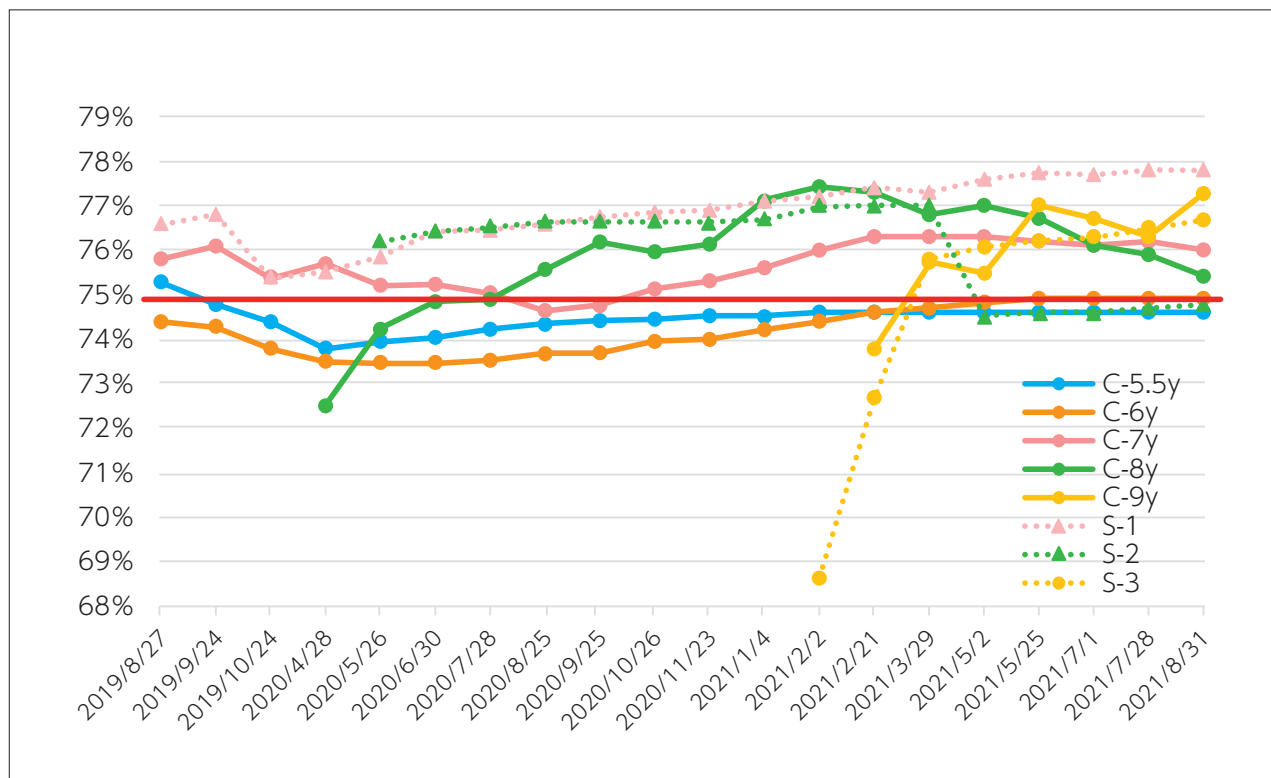


図3 9歳質問票と10歳質問票の開始後の回収数(2011年生まれ参加者)

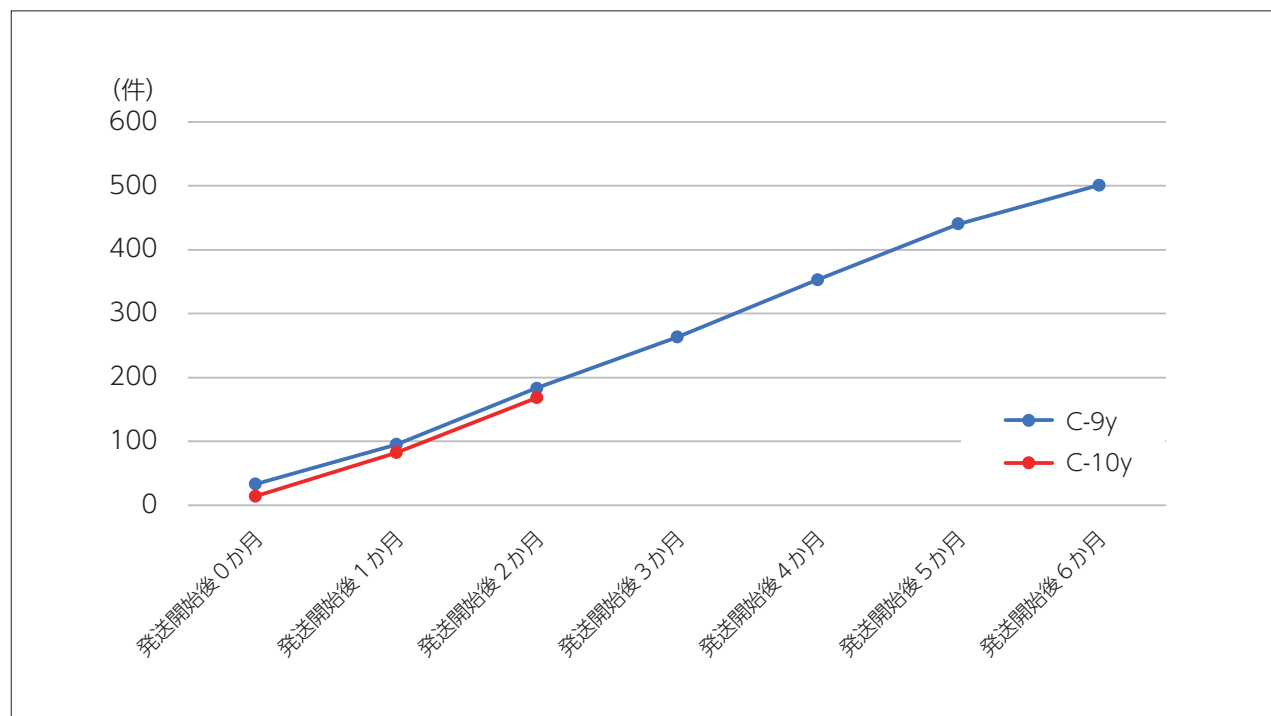


図4 質問票Q&Aアクセス数 ※4月件数は参考値

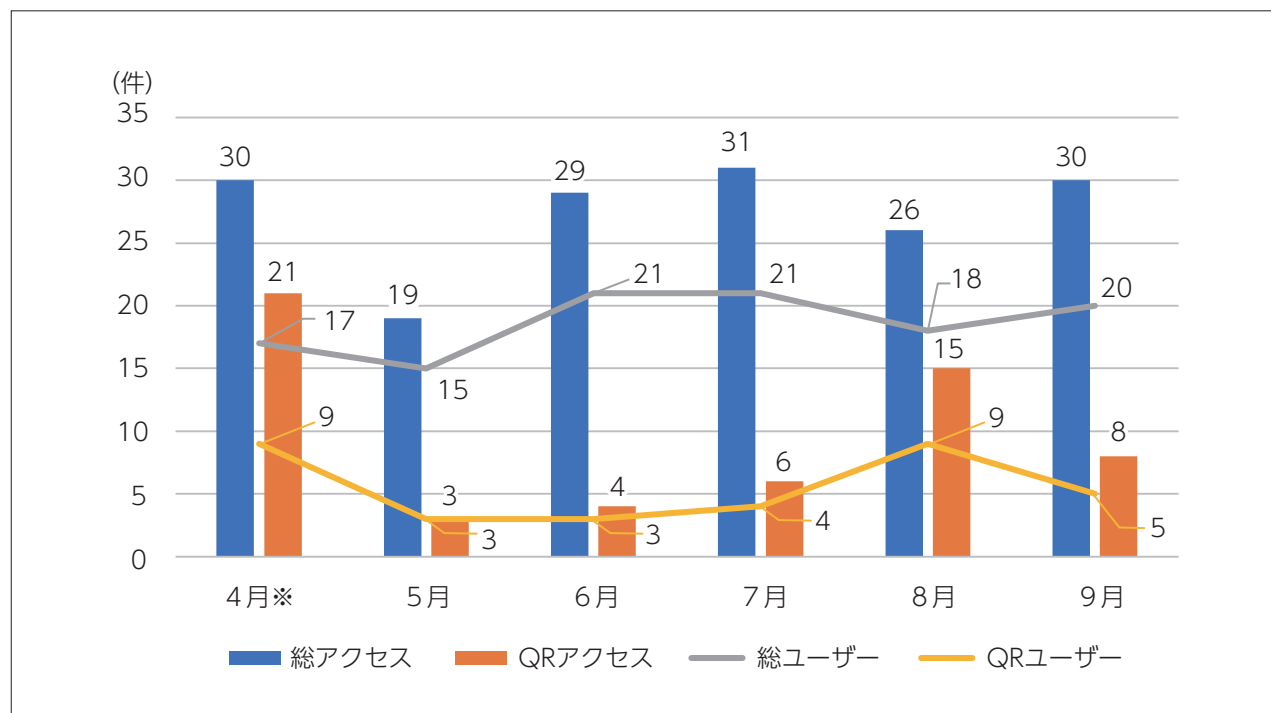


表1 子ども現参加者数(令和2年9月末時点、令和3年9月末時点)

	転出	転入	本人死亡	代諾者消失	住所不明	その他	現参加者	現参加率 (転入出調整)
令和2年9月末時点	165	129	24	593	42	5	12,166	94.8%
令和3年9月末時点	201	139	24	650	53	10	12,067	94.3%

ニューズレターの発行

2021年秋・冬号(令和3年11月発行)

発行/エコチル調査福島ユニットセンター

エコチル★ふくしま

No.32

こぼちる通信

2021年秋・冬号



※個人情報保護のため画像処理をして掲載しております。

ひとやん

こーちゃん

エコチルキッズの成長フォト



※個人情報保護のため画像処理をして掲載しております。

さくくん

えりちゃん

Topics

進んで！学んで！エコチル★キッズ！

★「SDGs」ってなんだろう？

乳歯調査

★乳歯調査へのご協力をお願い

ふれあい会

★「ミニはにわをつくろう！」

おしえて先生！あんなこと、こんなこと

★奇妙に見える行動には理由があります

Japan Eco & Child Study

エコチル調査10周年

おしえて先生！あんなこと、こんなこと

今年度もより一歩前進で3人の先生方に子どもたちの発達についてお話をいただきます。

奇妙に見える行動には理由があります

福島県立医科大学小児科講師
加藤 朝子 先生

Q：身体をぐるぐる回らせたり、ジャンプをくり返すなどの行動は、やめさせた方がいいですか？

A：子どもはぐるぐる回ったり、ジャンプ跳ぶのが大好きですが、周りの状況にかまわず、一人で執拗にやり続けていると、周囲に迷惑を及ぼすことがあります。ほかに身体を揺る、つま先で歩く、手をひらひらさせるなどという行動がありますが、これらは感覚の問題に大きく関係しています。私たちは視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のほか、身体の内臓や骨の動きや位置を感じる固有受容感などの感覚情報を外界から取り入れて、脳で統合して活動しています。感覚の入り方がうまくいかないと、より強い感覚を求めて楽しい動きや奇妙に見える行動に結びつきやすくなります。

また、視覚や聴覚からの情報は、脳でその意味を認知処理されて複雑な活動につながりますが、これが難しいと前庭覚や固有覚のような単純でわかりやすい刺激を求めてしまいます。さらに感覚は感情とも深く関係しています。不安や緊張などがあると、強い刺激や自分に強い刺激を入れて気持ちを整えていることがあります。奇妙に見えても本人や周囲の人に危険や害がなければ、無理にやめさせる必要はありません。危険な状況に陥りやすくなる場合は、前庭感覚でも安全で一緒に楽しめる方法を考えたり、ストレスから来ている場合は、その原因を考えて対応しましょう。小さいときから一緒に身体を使って遊ぶことが、感覚統合の力を伸ばしたり、コミュニケーションの基本にもなります。

行動ではありませんが、奇妙な身体活動の一つにチックがあります。チックは脳のドパミン神経の過活動によるものとされ、繰り返す早い動きで自分の意思にコントロールが難しくなります。まばたきや目を閉じると閉む、口や肩に力が入ると、単純なものは自然に治ることが多いので叱ったり指導せずに見守って下さい。ストレスや睡眠不足、ゲームやスマホの使用の多い生活は、原因の一つになります。長い時間や声を出すようなときは、医師に相談して下さい。

お知らせ

2022年エコチルカレンダーが完成しました！！

2022年カレンダーでは「成長の記録メモ」を最終ページに掲載しました！
小学校から書く予定記録を残しておくのに便利です。

そのほか、最終ページには、エコチル調査からのお知らせやエコチル★ふくしまnanacoカードのご利用方法などを掲載しております。

ぜひご活用ください！

学年質問書ご返送のお願い

学年質問書のご返送はお済みでしょうか？
学年質問書はページ数が少ないので、**直送年次表(8月まで)**にご返送ください。
お手元がない場合は再送も可能です。
お問い合わせ先までご連絡ください。
質問書のご返送お待ちしております。

「エコチル調査でわかってきたこと エコチル★ふくしま版」発行しました。

今回、みなさまにご協力いただいたデータを用いた研究がわかってきたことのご紹介や質問票集計結果を報告した資料を同封しています。ぜひ、ご覧ください。

調査の一般的な内容に関するお問い合わせ先

エコチル調査福島専用コールセンター
TEL 0120-327-735
平日(土・日・祝日も可) 9:00-17:00

エコチル調査福島ユニットセンターへのお問い合わせ先

福島本部事務所(県本・県本支店)
TEL 024-547-1449
TEL 024-547-1449
〒963-1205 福島市北山1-1(福島県立医科大学)

山形本部事務所(県本・県本支店)
TEL 024-983-4780
TEL 024-983-4780
〒983-8025 山形市南町1-2(山形県立医科大学)

https://www.ecochil-fukushima.jp/

エコチル★ふくしま

進んで！学んで！エコチル★キッズ！ Vol.2

「SDGs」ってなんだろう？

エコチルキッズのみなさん、こんにちは！
みなさんは「SDGs(えすでーじーず)」って聞いたことがありますか？

さて、みなさんにとって、「ふつう」な生活って、どんなものですか？
きれいな水を飲む、お風呂が満ちたらご飯を食べ、学校に行ったり、テレビを見たり…。
しかし、みなさんが「ふつう」と感じている生活は、世界では決して当たり前のものではありません。
きれいな水を飲むことができない、お風呂いっぱい食べることができない、学校に行けない、雪がなければならぬ、そんな子どもたちが実は大勢いるのです。
世界中の誰もが幸せに暮らせるようにするために、これからも安心して暮らせる地球であるために、世界中のみんなが取り組む目標が決められています。
これを「SDGs(持続可能な開発目標)」といいます。2030年までの達成に向けて17の目標があり、世界中のみんなが頑張っているのです。

みんなができることを考えてみよう！

みなさんにもできることがたくさんあります。
たとえば…

- ①電気を無駄にしない
誰もいない部屋の電気を消す
見ていないテレビを消す など
- ②ごみを増やさない
エコバッグを使う
ごみは分別して出す など

ほかにもたくさんあります。
おうちの人と一緒に話し合ってみよう！

コミュニティ福島で待ってます！

コミュニティ福島でも「SDGs」を知ることができる展示や、「SDGs」について学べるプログラムがあります。
エコチルキッズのみなさんが来てくれることを、スタッフみんなで待っています。

福島県環境創造センター交流棟 コミュニティ福島
〒963-7700 福島県田村郡三春町清田1番2号 3F 3F 3F
TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727
https://com-fukushima.jp/ コミュニティ福島 入館無料

みんながSDGs!

乳歯調査へのご協力をお願い

協力意思確認が主で「協力する」とご回答いただいた方には、小学4年生(10歳)の時、「乳歯回収キット」をお届けしています。今回は、乳歯回収キット返送の流れをご紹介します。

- Step 1 乳歯回収キットが自宅に届く
- Step 2 説明資料や協力者向け動画を ご確認の上、提供する乳歯を決定
- Step 3 乳歯に関する調査への回答 ※両面2ページです
- Step 4 「着払い」返付先を指定する際に (1)乳歯の入ったケースと (2)調査票を封入し、郵便物で返送 ※ポストには投函しないでください
- Step 5 乳歯の受け取り後、数か月以内に1,000円分nanacoポイント付与させていただきます

エコチル★ふくしま親子ふれあい会からのお知らせ

ミニはにわをつくろう！

楽しいふれあい会のお知らせです！
プログラムは、「ミニはにわをつくろう！」
前回の「おうちでDANCE+DANCEレッスン」に続き、今回もオンラインでの開催となります。
福島県文化財センター白河館(まほろん)の学芸員さんが動画に出演し、ミニはにわの作り方を教えてください。

2022年2月18日より エコチル★ふくしまHPで 配信開始

☆「はにわ粘土」をプレゼント！30組限定(ひと家族1個)

動画を見ながら、「ミニはにわ」づくり挑戦しよう！
【申込受付期間】2021年12月(水)～2022年1月7日(金)
【申込方法】①パソコンからは…
「エコチル★ふくしま」ホームページ検索、「イベント情報」⇒「ミニはにわをつくろう！」をクリックし、申込フォームよりお申込みください。
②スマートフォンからは…
右記QRコードを読み込んでアクセス、申込フォームよりお申込みください。
申込数が予定数を超えた場合は、抽選となります。抽選結果及び「はにわ粘土」は、1月末発送予定です。
※プレゼントの粘土抽選にはずれの方も、動画視聴ができます。「ミニはにわ」は粘土主として作ることもできます。

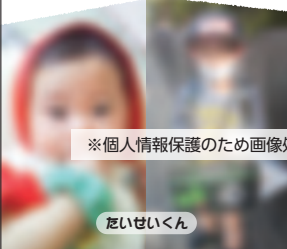
SDGsをテーマにした第4回エコチル★ふくしま環境セミナーをオンライン開催します。詳しくは随時の特設ページをご覧ください。

発行/エコチル調査福島ユニットセンター
エコチル調査10周年

エコチル★ふくしま No.33

こぼちる通信

2022年 春号



だいきくん



りいなちゃん

※個人情報保護のため画像処理をして掲載しております。

エコチルキッズの成長フォト



ゆうきくん

“お気に入り写真”で
表紙を飾ってみませんか？

次号からのこぼちる通信は、みなさんの“お気に入り写真”を表紙に掲載していきます。

★家族の一員！自慢のペット！
★おもしろいもの発見！
★上手にできたよ！

など、お気に入りと一緒に写真を送ってください。

掲載された方には、500円分のワオカードをプレゼントします。

なお、くわしい応募方法は、エコチル★ふくしまホームページでご確認をお願いします。

たくさんのご応募、お待ちしております。

応募はこちら



Topics

選んで！学んで！エコチル★キッズ！
★キッズページを見てみよう
★かわいい「はにわフォト」がきました！
★ゲノム・遺伝子解析研究がはじまります

★第4回エコチル★ふくしま環境セミナーを開催しました
おそで先生！あんなこと、こんなこと
★発達障がいとおくすり

Japan Eco & Child Study

おしえて先生！あんなこと、こんなこと

今度もより一歩で3人の発達に子ども達の発達についてお話をいただきます。

発達障がいとおくすり

大原綜合病院 小児科医
保科 めぐみ 先生



Q：発達障がいはおくすりですりですか？

A：発達障がいは脳の機能障害ですが、一般的な病気とは違って、発達段階で、脳機能の発達にばらつきが生じたもので、残念ながらお薬で治るわけではありません。基本的には本人の特性に合った環境調整、周囲の大人のかかわり方や教え方の工夫、本人にあったスキルアップ等が重要で、幼児期から成人期まで本人の状況に合わせた継続的な支援で発達の凸凹があらわらなく生活できるようにしていくことが大切です。

例えば注意欠如多動性では、おくすりで機能が低下している脳の神経の伝わりをよくすることによって、不注意や多動多動性などの主要症状を改善させることができます。

ができ、おくすりの効果が最も期待される発達障がいと云えると思います。

自閉スペクトラム症においては発達特性そのものを改善するおくすりはありませんが、二次的に生じる睡眠障害や感情障害（パニック、衝動、自傷行為等）の緩和に、睡眠導入剤、向精神薬、気分安定薬等が用いられ、生活しやすいに結びつくことがあります。

学習障害に関しては有効なおくすりは見つかっていません。

このように薬物療法も選択肢の一つですが、はじめに述べたように適切な環境調整や心社会的治療がなくてはならないと考えられています。お薬はドレッシングのようなものとお話しています。おいしい野菜があってはじめてドレッシングをかけるとおいしいサラダになりますね。ドレッシングだけあっても食べられません。

いずれにしても、お子さんの状況によっておくすりの種類も使い方も変わってきます。おくすりの効果があってもその先のような状態になれば止めてほしいのか等難しい問題もあります。主治医の先生とよく相談して、おくすりのメリットデメリットをよく理解して使っていきたいと思っています。

お知らせ

nanacoカードのお知らせ

2022年3月末にポイントの有効期限が切れてしまうものがあります！！

お早めに電子マネーに交換してください！

詳しくは、「エコチル★ふくしま」ホームページをご覧ください。

転居をご予定の方へ

お引越しされるご予定の方は、ユニットセンターまでご連絡をお願いします。



みなさんの力を貸してください

エコチル調査には、皆様の協力が必要です。ご自宅に質問票が置きましたら、ご返送をお願いいたします。

お忙しいご家庭ですが、お早めにご返送をお願いします。

乳歯回収キットのご返送をお願いします

2011年度生まれの方の返送締切は2022年3月末までです。

※ご不明な点は、ユニットセンターまでご連絡ください。

調査の一時的な内容に関するお問い合わせ先

▶エコチル調査福島専用コールセンター
030-0120-327-735
平日（土・日・祝日も可） 9:00-17:00

▶エコチル調査福島ユニットセンターへのお問い合わせ先

▶福島本部事務所（県本・松本地区） TEL 024-547-1449 〒960-2955 福島市若菜1-1（福島県立医科大学内）	▶郡山事務所（郡中・南郷・会津・いわき地区） TEL 024-983-4780 〒963-8025 郡山市若菜1-1（福島県立医科大学内）
---	--

https://www.ecochild-fukushima.jp/

エコチル★ふくしま

こぼちる通信

選んで！学んで！エコチル★キッズ！ vol.3

エコチル★ふくしまのキッズページがもうすぐオープンします！

キッズページって？

エコチル★キッズのみなさん、こんにちは！もうすぐエコチル★ふくしまキッズページがオープンします！キッズページは、エコチル調査でどんなことしているの？という疑問や、インターネットを使う時のルール、マナーについて、こぼちるといっしょに楽しく学べるページです！

他にも、みんなの生活で困ったこと、悩んでいることを気軽に相談できる「はにわフォト」や、エコチル調査について知ってもらうための「エコチルクイズ」がオープンします！クイズは挑戦するたびに内容が変わるので、がんばって挑戦してエコチル博士になろう！



「エコチルクイズ」に挑戦してみよう！！

●エコチル調査は全国でどのくらいの親子が参加しているの？

- 約5000組
- 約1万組
- 約5万組
- 約10万組

●「こぼちる」のモデルになったものはなんだろう？

- あかべこ
- おきあがりこぼし
- しらかわだるま
- つちゆこけし

たとえば、エコチル★ふくしまキッズページがオープンしたら実際にクイズに挑戦して確認してみよう！
(3月下旬公開予定です！)

ゲノム・遺伝子解析研究がはじまります！！

「ゲノム・遺伝子解析研究」は、みなさまにエコチル調査へご協力いただく、同意書で「将来の遺伝子解析のために血液などが保存され、実際に研究計画が定まりましたら必要な手続きを行い実施します」とご説明した研究にあります。

研究をはじめにあり参加者のみなさまへのお願い

研究についてお送りした説明書やホームページ掲載資料（下記）でご確認いただき、**ゲノム・遺伝子解析研究への協力についてご検討**をお願いします。

協力するとき 手続きは不要です。

辞退したいとき 令和4年8月末までに、「協力辞退申請書」をご返送ください。

※ご辞退された方もみなさまの利益になることはありません。引続き、その他のエコチル調査への協力をお願いします。

エコチル調査ゲノム・遺伝子解析研究

【目的】環境中の化学物質の健康への影響をより正確に検討するために遺伝子変異を調べます。

【解析法】エコチル調査で使っている尿の尿標本を用います。

※お子さまの尿標本・出生時に採取にご協力いただいたお母さま、お父さまの血液

※お子さまが生まれた時のへその緒の血液

参加者のみなさま、お父さまに新たにご協力をお願いすることはありません。

詳しくは、各県本部事務所にお届けした「ゲノム・遺伝子解析研究について」説明書をご覧ください。



研究について分かりやすくまとめた説明書や同意書がダウンロードできます。

※説明書や同意書は、各県本部事務所または各県本部事務所へお問い合わせください。

エコチル★ふくしま親子ふれあい会からのお知らせ

かわいい「はにわフォト」がきました！

エコチル★ふくしまホームページでは、2月18日より「はにわにわつくり」の動画配信がスタートしました。動画は、ホームページのエコチル調査部（エコチル動画）より、いつでもご覧いただけます。参加者のみなさまから届いた「はにわにわ」の写真をご紹介いたします。

エコチル★ふくしまホームページでも紹介する予定です。ぜひご覧ください。



はちやん



ネコ大好きこちゃん



ゆーちゃん



はちやん

第4回エコチル★ふくしま環境セミナーを開催しました

テーマ：「家族で考えよう！SDGs達成と脱炭素社会づくり」

講師：国立研究開発法人 国立環境研究所
環境政策推進研究拠点
環境政策推進研究センター 室長 五味 馨 先生

第4回エコチル★ふくしま環境セミナーを令和4年2月13日（日）にオンラインで開催しました。

今回は、最近よく耳にする「SDGs」と「脱炭素社会」について、五味先生にご講演いただきました。

講演の中で行われたクイズの一部をご紹介します！ぜひ挑戦してみてください！

クイズ5

1分でも早くたんきをつかうのはどれでしょう？

テレビ、冷蔵庫、ドライヤー

正解：ドライヤー

クイズ6

1分でも早くたんきをつかうのはどれでしょう？

テレビ、冷蔵庫、ドライヤー

正解：ドライヤー

たとえば、3月下旬頃にエコチル★ふくしまホームページ（エコチル調査部）に掲載する環境セミナーの動画にご確認ください！

47